

① 団体の組織概要

- 代表者名 井口 利枝子
- 団体の所在地 〒770-0944
徳島市南昭和町4丁目70-3-301
- 設立時期 平成6年4月8日
- 活動区分
 - 環境学習・環境教育の実施
 - 自然環境保全
- 団体の活動目的 自分たちの住んでいる徳島の自然、身の回り自然をよく観て、よく識るための自然観察会を、定期的に開くことにより、一人でも多くの人に自然観察を通じて身近な自然環境を知り、人と自然のつながりを見つめ直すことの大切さや素晴らしさを伝えると同時に自然保護の仲間づくりのためのネットワークを広げる。
- 活動頻度 観察会や生物調査等の開催または世話人会（毎月）
- 主な活動場所 吉野川汽水域周辺、海岸、徳島市内
- 会員数 94人（平成23年10月1日現在）
- 会費 年1,000円
メールでの観察会案内配信は無料
- 入会方法 FAX またはメールへ申し込み
- ホームページアドレス <http://www.shiomaneki.net/>
- 連絡先
 - ◇連絡担当者 井口 利枝子
 - ◇電話番号 088-623-6783
 - ◇FAX 番号 088-622-0619
 - ◇メールアドレス madoguchi@shiomaneki.net

② 主な活動紹介

●活動状況

【定期的な自然観察会の開催】

(吉野川河口干潟・小松海岸・セミの羽化の観察会など)

身近な自然のなかで、ひとりでも多くの人々が観察会をとおして、ひとの暮らしと自然、ひとと生物との関わり方を感じ、吉野川など徳島の身近な自然の素晴らしさを再発見し、川や海に近づききっかけにしていきたいと思ひます。



吉野川河口干潟の観察会

【吉野川汽水域を巡るエコツアー】

四国三郎が堂々と海に注ぐ吉野川が海と出会うところの河口干潟や汽水域及び沿岸域は、国内でも最大級の規模と景観を誇り、生物多様性が高く、健全な生態系を保持しています。また、昔から流域や沿岸の自然特性を活用した産業が営まれてきました。

吉野川汽水域の自然とのつながりや水都徳島の歴史や文化を発見し、確認するプログラムを盛り込んだエコツアーを実施しています。



吉野川エコツアー
『監師佐藤昭人さんのお話を聞く』

【吉野川河口域の生物多様性を知るための市民調査】

『吉野川しおまねき探検隊』 <http://shiomaneke.info/>

シオマネキとハクセンシオマネキは、環境省のレッドリスト(2006)において「絶滅危惧 II 類(VU)」となっています。主に吉野川におけるシオマネキやハクセンシオマネキが生息する場所のエコトーンの様子を調査し、15年前に実施した市民調査データと比較することによって、ひとりでも多くの子もたちや人々が調査を通して環境の変化を実感するとともに、吉野川の生物多様性を保全することの大切さを伝えていきたいと思ひます。



しおまねき探検隊

●定期刊行物等

しおまねき通信(季刊)

刊行物／とくしま海辺通信・吉野川ふれあいマップなど

●メッセージ、PR

身近な自然を知り、体で感じることは、自然をまもることや自然とのかかわり方を考える時に、とても大切なことだと思ひます。四季折々の生命の営みに立ち会ったりしながら、私たちが暮らすこと、生きることが、決して自然とかけ離れたものではないということや、自然や環境について考えることが、特別な人だけが考える特別なことではないということを感じてもらおうきっかけづくりをしたいと思います。